



目 次

P01 FEATURE-1

“はかる”ことからすべてがはじまる

P07 CEO MESSAGE

社長メッセージ

P11 FEATURE-2

中長期経営計画の進捗

P13 CFO MESSAGE

CFOメッセージ

P15 BUSINESS OUTLINE

事業概要 地域別・事業別概要

自動車計測システム機器部門 医用システム機器部門

半導体システム機器部門 科学システム機器部門

環境・プロセスシステム機器部門

P27 VALUE CREATION

見えない資産による価値創造 人財 技術

P33 CORPORATE GOVERNANCE

コーポレートガバナンス 役員紹介

社外取締役から見たHORIBAのコーポレートガバナンス

P37 CSR

誰にとっても価値のある企業

P41 One Company Song

P42 FINANCIAL DATA

財務データ 11年間の主要財務データ

P50 CORPORATE PHILOSOPHY

コーポレートフィロソフィ おもしろおかしく

P51 CORPORATE DATA

コーポレートデータ

編集方針

財務諸表に載らない企業文化を感じていただくことで、HORIBAのさらなる価値をご理解いただきたいというおもいから、今年度より
アニュアルレポートとGaiareport (CSR報告書) の内容を再編集した統合報告書「HORIBA Report」とウェブサイト「ステーク
ホルダーのみなさまへ」にて様々な取り組みを紹介しています。

アニュアルレポート



冊子

Gaiareport (CSR報告書)



冊子

ウェブサイト



HORIBA Report



冊子

ステークホルダーのみなさまへ



ウェブサイト

<http://www.horiba.com/jp/horibareport/>



HORIBAと堀場製作所の表記について

本冊子において、HORIBAグループ全体を指す場合には「HORIBA」、株式会社堀場製作所を指す場合には「堀場製作所」と表記を統一しています。

「人財」の表記について

HORIBAでは、従業員を大切な財産と考えて「人財」と表現しています。詳しくは『見えない資産による価値創造』(27ページ)で紹介しています。

将来の見通しに関する注意事項

本冊子には、堀場製作所および関係会社の将来についての計画や戦略、業績に関する予想および見通しの記述が含まれています。これらの記述は、2014年2月13日の業績発表時点での入手可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見通しによるものです。このため実際の業績は、様々な外部環境の要因などにより、当初の見込みとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。

決算期の変更について

2006年12月期から決算期を従来の3月20日から12月31日に変更しました。それに伴い、2006年12月期は堀場製作所および株式会社堀場アドバンスドテクノが2006年3月21日から2006年12月31日までの9ヶ月+11日、株式会社堀場エステックが2006年4月1日から2006年12月31日までの9ヶ月の変則決算となりました。その他の連結対象子会社につきましては、決算期が以前から12月31日であったため、12ヶ月の決算に変更ありません。業績比較の際にはご注意ください。

2006年3月期以前の年度表記において、2006年3月期を2005年度、2005年3月期を2004年度、2004年3月期を2003年度と表記しています。